

# 1 事業報告書

## (1) 法人の概要

### ① 建学の精神

徳・健・財、三拍子そろった姿でルールを守り、世の中のために尽くす人間となるために、勤勉努力する人物を育成する。

### ② 教育方針

勤勉と責任とを重んじ、自立的精神を養うと共に、明朗にして誠実、常に希望の中に幸福を見出し、社会のすべてから「安心」と「尊敬」と「信頼」の対象となり、信用され得る人物を育成するため仏教を中心とした宗教による教育を実施する。

### ③ 設置する学校

清風南海中学校 生徒定員 840名

清風南海高等学校 全日制課程 普通科 生徒定員 1080名

### ④ 役員及び教職員等

理事長、専務理事、理事(4名)、監事(2名)、評議員(13名)、教職員等(165名)

学校医等(学校医・歯科医・学校薬剤師・産業医)【委嘱】 4名(兼務1名を含む。)

### ⑤ 法人の沿革

昭和38年 4月 清風学園姉妹校として学校法人清風南海学園を創設開校

昭和58年 4月 中学校を併設開校

昭和58年 4月 オーストラリア ブリスベン・グラマースクールと姉妹校提携

昭和59年 4月 イギリス ザ・ロイヤル・ウルバーハンプトン・スクールと姉妹校提携

昭和60年 4月 イギリス モンマス・スクールと姉妹校提携

昭和60年10月 フィリピン カレジオ・デ・サンファン・デ・レトランと姉妹校提携

平成 9年 4月 中国 北京大学付属中学と姉妹校提携

平成11年 3月 校外学舎岬学舎新設

平成11年 4月 中学校男女共学実施

平成14年 4月 高等学校男女共学実施

平成24年 3月 新校舎第1期の完成

平成25年 3月 新校舎第2期の完成

平成25年 9月 テニスコート、クラブ新棟の完成

令和 6年 3月 岬学舎新築竣工

## (2) 学校運営の概要

### ① 校地・校舎

位置 大阪府高石市綾園5丁目7番64号

(岬学舎) 大阪府泉南郡岬町淡輪4146番1

校地 校地面積 32,909.68㎡

運動場面積 22,590.75㎡

校舎面積 19,014.39㎡

### ② 教育課程

中学校(50分授業)

教科 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、  
道徳、特別活動、その他選択教科及び総合的学習

高等学校(50分授業)

教科 国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、  
情報、総合的学習、特活

### ③ 図書館 蔵書冊数 47,742冊

## (3) 卒業後の進路状況

中学 令和6年度卒業生数 271名 清風南海高等学校へ進学した数 260名

高校 令和6年度卒業生数 290名 大学進学者数 182名

## (4) 大学合格状況

国立大学 現役 148名 過年度生 58名

うち、東大・京大・国立大医学部 現役 23名 過年度生 11名

参考	現役	過年度生	計
東大	2	1	3
京大	20	5	25
国公立 医-医	23	11	34
合計	45	17	62

(5) 令和7年度の新規事業(新たな取組み)

① 幹事校(当番校)として2025年度の「花まつり」開催(実施済み)

本校は今年度、府内仏教関係の私立中学・高校が毎年開催している「釈尊降誕花まつり」(灌仏会)の幹事当番校として任務にあたり、生徒役員は本校のインターアクト部員が務め、第三部の余興では本校吹奏楽部・合唱部の共演で「花は咲く」などの曲が披露されるなど、盛況のうちに無事終了した。

② 立て替えによりリニューアルされた本校岬学舎の利用が本格化

昨年7月の中1水泳実習など、岬学舎の本格運用されている。この3月にも高校2年生(現高校3年生)の希望者約80名が、勉強合宿に利用した。来る6月14(土)、15(日)にも同高3学年が勉強合宿を行う予定である。

③ 保護者の来校しやすい曜日への行事日程変更

体育大会の合唱コンクール・保護者会・国際シンポジウムに加え、今年度より中・高各体育大会も土曜日の実施とすることで、さらに保護者に来校して頂きやすい曜日設定になった。

④ 教員の働き方改革の進展

本校教員の平日週休日による週休2日制、特別時間有給、時差出勤など、働き方改革が推進され、働きやすい環境が整備されている。

## 2 令和6年度 財務状況

(1) 事業活動収支計算書について

[教育活動収支]

収入の部合計が18億8054万2千円、  
支出の部合計が17億1255万9千円、  
となっており、今年度も収入が支出を上回り、  
教育活動収支差額は1億6798万3千円となっている。

[教育活動外収支]

教育活動外収支の部としては、収支差額はマイナスの683万5千円となっており、  
この結果、経常収支差額は1億6114万7千円となっている。

[特別収支]

その他の特別収入の額が2670万円で、内訳は、教育後援会からの寄付金が1800万円、  
他は補助金収入である。

結果、基本金組入前当年度収支差額は1億8784万7千円となり、基本金組入額  
6534万4千円を考慮し、当年度収支差額としては1億2250万3千円となり、  
最終、翌年度繰越収支差額はマイナス4億6832万円となりました。

次に、借入金の状況は、日本私立学校振興・共済事業団からの既存借入金に加え、  
昨年度、岬学舎建築に係る借入金6億円の増もあったが、返済も着実に進んでおり、  
期末残高は6億9120万6千円となっている。

(2) 貸借対照表について

① 資産の部では、固定資産及び流動資産を合わせて

65億936万3千円で前年度比2312万3千円の減、

② 負債の部では、固定負債及び流動負債を合わせて

13億5149万5千円で、前年度比2億1097万円の減、

③ 純資産の部

基本金については、合計56億2618万8千円で、前年度比6534万4千円の増、

繰越収支差額が前年度比1億2250万3千円の増で、

純資産の部合計は、51億5786万7千円となり、前年度比1億8784万7千円

の増、負債及び純資産の部合計は、65億936万3千円で、資産の部と同額となる。

### 3 令和6年度 収支計算書

※四捨五入により、合計額と合わない個所があります。

(1) 令和6年度 資金収支計算書 (R6.4.1からR7.3.31まで)

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,101,531	人件費支出	1,310,139
手数料収入	40,316	教育研究費支出	251,738
寄付金収入	19,000	管理経費支出	99,501
補助金収入	707,717	借入金等利息支出	7,672
資産売却収入	0	借入金等返済支出	115,182
付随事業等収入	35,872	施設関係支出	47,440
受取利息・配当金収入	836	設備関係支出	46,065
雑収入	59,214	資産運用支出	50,137
借入金等収入	0	その他の支出	114,041
前受金収入	245,620	資金支出調整勘定	△ 63,927
その他の収入	175,263	翌年度繰越支払資金	1,913,670
資金収入調整勘定	△ 315,704	計	3,891,657
前年度繰越支払資金	1,821,993		
計	3,891,657		

(2) 令和6年度 資金収支内訳表 (R6.4.1からR7.3.31まで)

(単位:千円)

収入の部		
科目	中学校	高等学校
学生生徒等納付金収入	644,868	456,663
手数料収入	35,488	4,828
寄付金収入	9,120	9,880
補助金収入	209,207	498,510
資産売却収入	0	0
付随事業等収入	22,879	12,993
受取利息・配当金収入	401	435
雑収入	35,243	23,971
借入金等収入	0	0
計	957,205	1,007,280

支出の部		
科目	中学校	高等学校
人件費支出	592,809	713,561
教育研究費支出	134,982	116,756
管理経費支出	55,718	43,782
借入金等利息支出	3,677	3,995
借入金等返済支出	56,258	58,924
施設関係支出	22,778	24,661
設備関係支出	22,015	24,050
計	888,237	985,729

(3) 令和6年度 事業活動収支計算書 (R6.4.1からR7.3.31まで)

(単位:千円)

	科目	金額
		学生生徒等納付金
教育 事業 活動 の 部 動	手数料	40,316
	寄付金	1,000
	経常費等補助金	699,017
	付随事業収入	35,872

教育活動収支	雑収入		2,807	
		教育活動収入計	1,880,543	
	事業活動の動部	科目		金額
		人件費		1,172,190
		教育研究経費		417,448
		管理経費		122,921
		徴収不能額等		0
教育活動支出計		1,712,559		
教育活動収支差額		167,983		
教育活動外収支	事業収入の動部	科目		金額
		受取利息・配当金		836
		教育活動外収入計		836
	事業支出の動部	科目		金額
		借入金等利息		7,672
		教育活動外支出計		7,672
教育活動外収支差額		△ 6,836		
経常収支差額			161,148	
特別収支	事業収入の動部	科目		金額
		資産売却差額		0
		その他の特別収入		26,700
	特別収入計		26,700	
	事業支出の動部	科目		金額
		資産処分差額		0
特別支出計			0	
特別収支差額		26,700		
基本金組入前当年度収支差額			187,848	
基本金組入額合計			△ 65,344	
当年度収支差額			122,503	
前年度繰越収支差額			△ 590,824	
基本金取崩額			0	
翌年度繰越収支差額			△ 468,321	

事業活動収入計 1,908,078  
事業活動支出計 1,720,231

(4) 令和6年度 事業活動収支内訳表(R6.4.1からR7.3.31まで)

(単位:千円)

教育活動収支	事業活動の動部	科目	中学校	高等学校	
		収入	学生生徒等納付金	644,868	456,663
		手数料	35,488	4,828	
		寄付金	480	520	
		経常費等補助金	205,031	493,986	
		付随事業収入	22,879	12,993	
		雑収入	1,347	1,460	
		教育活動収入計	910,092	970,450	
教育活動外収支	事業活動の動部	科目	中学校	高等学校	
		支出	人件費	524,645	643,775
			教育研究経費	215,619	201,829
			管理経費	66,742	56,179
			徴収不能額等	0	0
			教育活動支出計	807,007	901,782
教育活動収支差額			103,085	68,668	
教育活動外収支	事業収入の動部	科目	中学校	高等学校	
		支出	受取利息・配当金	401	435
			教育活動外収入計	401	435
	事業支出の動部	科目	中学校	高等学校	
		支出	借入金等利息	3,677	3,995
			教育活動外支出計	3,677	3,995
教育活動外収支差額			△ 3,276	△ 3,560	
経常収支差額			99,809	65,108	
科目			中学校	高等学校	

特別収支	事業収入の部	資産売却差額	0	0
		その他の特別収入	12,816	13,884
		特別収入計	12,816	13,884
		科目	中学校	高等学校
	事業支出の部	資産処分差額	0	0
		特別支出計	0	0
		特別収支差額	12,816	13,884
	基本金組入前当年度収支差額		112,625	78,992
	基本金組入額合計		△ 31,365	△ 33,979
	当年度収支差額		81,260	45,013
前年度繰越収支差額		1,338,749	△ 1,442,188	
基本金取崩額		0	0	
翌年度繰越収支差額		1,420,009	△ 1,397,175	

事業活動収入計	923,309	984,769
事業活動支出計	810,684	905,777

#### 4 貸借対照表(令和7年3月31日)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	4,529,159	固定負債	889,026
流動資産	1,980,204	流動負債	462,470
資産の部合計	6,509,364	負債の部合計	1,351,496
		基本金	5,626,188
		繰越収支差額	△ 468,321
		負債・基本金・繰越収支差額合計	6,509,364

※四捨五入により、合計額と合わない個所があります。

#### 5 財産目録(令和7年3月31日)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	4,529,159	固定負債	889,026
有形固定資産	3,790,915	長期借入金	576,024
土地	787,032	長期未払金	27,312
建物・建物附属設備	2,698,892	その他	285,690
構築物	117,015	流動負債	462,470
その他	187,976	短期借入金	115,182
その他の固定資産	738,244	未払金	30,569
流動資産	1,980,204	前受金	245,620
現預金	1,913,670	その他	71,099
その他	66,534	負債の部合計	1,351,496
資産の部合計	6,509,364	差引正味資産	5,157,868

※四捨五入により、合計額と合わない個所があります。

#### 6 監査報告書

令和7年5月22日

学校法人 清風南海学園  
理事会・評議員会 様

学校法人 清風南海学園  
監事 野口 雅彦  
監事 大瀧 信治

私たちは、学校法人清風南海学園の監事として、旧私立学校法(令和5年5月8日施行)第37条第3項及び旧寄付行為第16条の規定に基づいて、同学校法人の令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、同学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行状況について監査を行いました。

私たちは、理事会等に出席するほか、理事等から業務の報告を聴取して、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、同学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致して、同学校法人の収支及び財政の状況を正しく示しており、さらに同学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行状況に関し、不正の行為又は法令若しくは旧寄付行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上